

# 国見町小坂地区

## 1 想定するモデルとしての姿、モデルとする事項

### <大豆の高単収・高品質化>

- 排水対策の徹底
- 計画的なブロックローテーションの実施
- 体系的な難防除雑草対策

ブロックローテーション

排水対策

高単収・高品質化

雑草防除

## 2 生産概要（中心的な担い手の概要）

- 【作付面積】水稻：36.7ha、大豆：7.6ha（R7）
- 基盤整備を契機に、大豆の作付開始。  
平成28年には最大14.1haまで作付拡大したが、収量(単収)が安定しないため面積が減少。令和3年度以降は作付面積を徐々に拡大（5.4ha（R3）→7.6ha（R7））

## 3 取組のポイント（モデルとして構築する取組）

### <計画的なブロックローテーション>

- 大豆の連作障害を避けるため、計画的なブロックローテーションを実施(大豆作付面積の23%)

### <難防除雑草対策と排水対策の徹底>

- ほ場準備と並行して額縁明きよ、ほ場内明きよを施工、アップカッターロータリーによる畝立施肥同時播種。
- 適期の中耕・培土の実施や吊り下げノズルを活用した非選択性除草剤の散布による体系防除と作業の省力化。



吊り下げノズル（左）



中耕・培土（右）

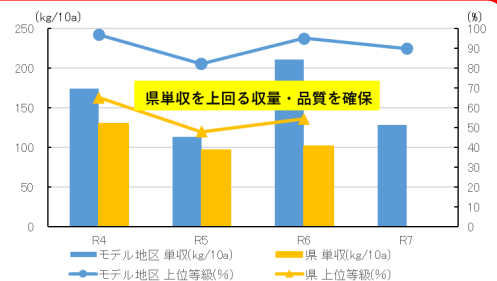
## 4 取組成果

### <高位安定化を実現>

- R5実績 単収 113kg/10a、上位等級（1、2等）82%。



- R6実績 単収 211kg/10a、上位等級（1、2等）95%。
- R7実績 単収 128kg/10a、上位等級（1、2等）90%。



## 5 残された課題

- R7は、播種後にまとまった降雨があり、アップカッターロータリーによる畝立播種が湿害対策に有効であることが確認できた。引き続き、排水対策の効果について検討を行う。
- 中耕・培土(7月上旬)や、吊り下げノズルによる非選択性除草剤の散布により、雑草の発生を抑えることができた。R8は他の除草剤でも吊り下げノズルによる散布を検討しているため、作業性や効果の違い、薬害等について調査を行う必要がある。
- 高温・少雨の影響により、R6と比較して収量が減少したため、渇水の場合には、かん水等の指導を行う必要がある。